

# 山行報告書

神戸勤労者山岳会

## 1. 参加者

中塚(CL)、別府

## 2. 山行スタイル

雪山

## 3. 目的

雪山の初級バリエーションを楽しむ

## 4. 山域/ルート

氷ノ山とうろう尾根～流れ尾

## 5. 交通手段

自家用車 前夜泊

## 6. 行動記録

2023年 3月 5日(日)

氷ノ山国際スキー場駐車場 5:40—親水公園 6:00—地蔵堂 7:00—とうろう尾根取り付き 8:50  
—とうろう岩 10:00—氷ノ山 11:20-11:40—流れ尾ロープ場 12:40—スキー場廃リフト 13:05  
—氷ノ山国際スキー場駐車場 14:10

## 7. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定通りのルート、時間で行動できた

b) 事故に繋がりそうな要因(ヒヤリハット)が発生したか？

ヒヤリハット無し

c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特には無し

## 8. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

・地蔵堂の先の沢を渡り梯子を上がる夏道は、水量が多く沢を渡れないため上流側に高巻いて沢を渡ったあとも、急斜面を直登して夏道よりかなり高いところにトレースが付けられていた。とうろう尾根の取り付きまで、そこから急降下して八木川左俣の沢 2 本を渡らねばならない。この間の

深い雪の中がアイゼンではなかなかしんどい。

・とうろう尾根の下部は急傾斜な細尾根だが、何カ所か短いダブルアックスが欲しいような急な雪面がある。また1カ所両側が切れ落ちたナイフリッジもある。

・とうろう岩の下に小さなお地蔵さまが祀られているが、このお地蔵さまは地蔵堂のものと同じだという。しかしいったい誰がこんな大変な場所まで運んで設置したのだろう。

・岩場がなくなったあたりでワカンに替えたが、堅い雪の上に柔らかい雪が乗っているからか、ワカンのツメが効かず滑って歩きにくかった。結果的にはアイゼンのままの方が正解だったと思う。

・下りに使った流れ尾も急傾斜な尾根だった。もちろんまたアイゼンに替えたが、4カ所後ろ向きで降りた。氷化した個所にはロープが張られてお



り、片手はこれが使える。

・スキー場の雪はこの時間になるとグスグスに腐っていた。颯爽と滑り降りるスキーヤーの横を、踏み抜きながらのろのろ降りるのはなかなかの苦行だった。



## 9. 感想

昨年 2 月、このルートを計画したが降雪と深い雪に地蔵堂までで撤退させられた。今回はこのリベンジで、時期を遅くして実施した。このおかげか、天気にも恵まれて予定通り歩くことが出来た。

とうろ尾根は数少ない記録をネットで調べていたが、実際に歩いたらその通りの急な細尾根。流れ尾は以前登りで使ったが、下ってみると思っていた以上の急傾斜だった。

しかし想定外に大変だったのは地蔵堂からとうろ尾根の取り付きまで。雪の状態により夏道を離れて急登と急降下を強いられ、渡渉箇所を探して深雪の中を右往左往し、ここでだいぶ体力を使ってしまった。そんな場面で別府氏が前でラッセルを頑張ってくれた。別府氏とこんな良いお天気にしたくれた自然に感謝している。(中塚)

報告者氏名 中塚文教

2023 年 3 月 6 日

